

京都伝統文化の森推進協議会 平成 23 年度事業実績報告

京都伝統文化の森推進協議会は、本市で最も文化的価値の高い地域のひとつである東山における森づくりを通じて、京都に根付いた自然との共生を基本とする日本の文化を全国に発信することを目的に、東山風景林の有する文化的価値について、情報を整理し、ホームページやイベント等において伝達する文化的価値発信事業に取り組むとともに、長期的な森林づくりの方向を議論し、具体的な森林整備を行う森林整備・景観対策事業に取り組んだ。

○ 協議会各種会合の開催

| 名 称 | 日 時 | 場 所 | 参 加 者 | |
|---------------------------------------|-------------------|---------------------|----------------------|------|
| 京都伝統文化の森推進協議会「役員会」 | 平成 23 年 7 月 7 日 | ホテル ルビノ京都堀川 | 10 名 | |
| 京都伝統文化の森推進協議会「総会」 | 平成 23 年 7 月 7 日 | ホテル ルビノ京都堀川 | 41 名 | |
| 京都伝統文化の森推進協議会 「森林整備・景観対策 専門委員会」 | 第 1 回 | 平成 23 年 6 月 24 日 | 京都健康保険組合 保養所きよみず | 15 名 |
| | 第 2 回 | 平成 24 年 2 月 10 日 | 職員会館かもがわ | 11 名 |
| 京都伝統文化の森推進協議会 「文化的価値発信 専門委員会」 | 第 1 回 | 平成 23 年 6 月 16 日 | 京都大学こころの 未来研究センター | 12 名 |
| | 第 2 回 | 平成 23 年 9 月 22 日 | 京都大学こころの 未来研究センター | 11 名 |
| | 第 3 回 | 平成 24 年 2 月 28 日 | 京都大学こころの 未来研究センター | 13 名 |
| 京都伝統文化の森推進協議会 「森林保全計画検討班会議」 | 平成 23 年 5 月 26 日 | 京都市役所 | 10 名 | |
| 京都伝統文化の森推進協議会 「市民連携検討班会議」 | 平成 23 年 11 月 28 日 | 京都健康保険組合 保養所きよみず | 9 名 | |

○ 文化的価値発信事業

- ・「ナラ枯れの薪で陶器を焼こう！」の開催

開催日：平成 23 年 4 月 10 日（日）、4 月 27 日（水）、5 月 7 日（土）

内 容：木材の「搬出」から「利用」までを普及啓発することを目的に、平成 22 年 12 月に実施した「使って守ろう京都三山の森～ナラ枯れ木搬出薪割り大作戦！～」で作られた薪 500 束を使って陶器を焼くイベントを開催。このイベントでは、一連の作業（作陶・火入れ・窯出し）を参加者に体験していただいた。

- ・第 1 回公開セミナー「京都の森はどのような『文化的価値』を発信してきたか？～ものづくりと歴史文化から考える～」の開催

開催日：平成 23 年 6 月 16 日（木）

場 所：京都大学稲盛財団記念館

参加者：30 名

内 容：文化的価値発信専門委員会の丘眞奈美委員，近藤高弘委員の講演の後，鎌田東二委員がコーディネーターでパネルディスカッションを行った。

- ・第 2 回公開セミナー「京都三山の自然と歴史を探る」の開催

開催日：平成 23 年 9 月 22 日（木）

場 所：京都大学稲盛財団記念館

参加者：52 名

内 容：文化的価値発信専門委員会の梶川敏夫委員，原田憲一委員の講演の後，鎌田東二委員がコーディネーターでパネルディスカッションを行った。

- ・第 3 回公開セミナー「京都の森と地域文化創造の過去・現在・未来」の開催

開催日：平成 24 年 2 月 28 日（火）

場 所：京都大学稲盛財団記念館

参加者：30 名

内 容：文化的価値発信専門委員会の大西宏志委員，日置弘一郎委員，吉岡洋委員の講演の後，鎌田東二委員がコーディネーターでパネルディスカッションを行った。

- ・「東山文化発心ーナラ灰『再生』ウツワ展」への共催

開催日：平成23年11月3日（木）～7日（月）

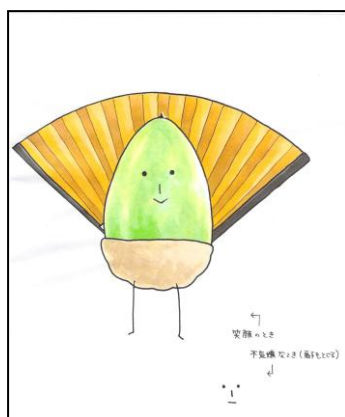
場 所：若宮八幡神宮社務所，近藤悠三記念館，河井寛次郎記念館

内 容：京焼・東山文化を考える会，第26回国民文化祭実行委員会との共催。東山のナラ枯れ木の薪からできたナラ灰を使った器を，焼き物関係者の方に作っていただき，その作品展示や座談会を行った。また，制作された器は販売され，売上金は東日本大震災で被災した窯業地（益子）に，残った器は石巻市へ届けられた。

- ・協議会 PR キャラクターコンペの実施

平成23年10月20日～平成24年1月20日にかけて京都伝統文化の森推進協議会 PR キャラクターを公募し，平成24年2月6日に選考委員による審査，平成24年2月28日に開催した第3回公開セミナーで入選作品の発表と表彰を行った。また，キャラクター募集に先駆け，鎌田東二委員作詞・作曲による協議会 PR 用テーマソングを製作した。

5点の入選作品のうち，最優秀賞の「くーりん」と優秀賞の「京だらぼっち」を，今後，協議会 PR キャラクターとして使用していく予定である（応募総数は106点，最優秀賞と優秀賞は下記参照）。



最優秀賞「くーりん」

<作品の説明>

清らかな（クリーン）森から生まれたどんぐりの子供。

京都の人に拾われ，大事に育てられている。京都の文化と人が大好き。背中にせおっている扇子は育ての親からのプレゼントで一番の宝物。

最近ちょっと難しい年頃で微妙な表情を浮かべたりするけど，なるべくここにこしている。



優秀賞「京だらぼっち」

<作品の説明>

森，文化，人々の暮らしが共存する京都の町を，おおらかに見守る三方の山をイメージしました。

○ 森林整備・景観対策事業

- ・「清水山山頂の景観改善に向けた森づくり②」の開催

日 時：平成 23 年 5 月 17 日（火）

場 所：東山風景林（高台寺山国有林）

参加者：42 名

内 容：清水山山頂において、ヒノキ林下層の常緑中低木の除伐作業をサポート、活動協力団体等の協力を得て行った。

- ・「清水山の森づくり（子安観音地区）」の開催

日 時：平成 23 年 12 月 18 日（日）

場 所：東山風景林（高台寺山国有林）

参加者：78 名

内 容：コジイ等の常緑樹に被圧されたヒノキ林において、常緑中低木の除伐・集積作業をサポート、活動協力団体等の協力を得て行った。また、作業後にはシューターを活用した木材の搬出作業の実演が行われた。

- ・「清水山山頂の景観改善に向けた森づくり③」の開催

日 時：平成 24 年 3 月 29 日（木）

場 所：東山風景林（高台寺山国有林）

参加者：36 名

内 容：清水山山頂及び成就院北側における常緑中低木の除伐作業をサポート、活動協力団体等の協力を得て行った。

- ・平成 23 年度東山風景林林相改善事業

委託先：計画立案及び監理 特定非営利活動法人森林再生支援センター 契約額 594,195 円

改善事業の実施 植彌加藤造園株式会社 契約額 3,385,410 円

内 容：東山風景林の林分 6 箇所において、景観と治山に配慮した計画で実施された。各箇所の施業内容等については 10 ページを参照。

なお、業務の委託に際しては、契約額の妥当性を図るため、仕様書等により業務内容を明確にし、公共単価による設計委託額を算出した。

- ・平成23年度東山風景林林相改善事業モニタリング

委託先：国立大学法人京都大学 契約額 525,000円

内 容：種多様性が高い森林の造成をめざして部分的に伐採した林分において、天然更新木や植栽木の成長についてのモニタリング調査を実施している。平成23年度

までの調査から、伐採跡地ではシイなど常緑樹の萌芽更新が著しく、有用な落葉樹更新木や植栽木の成長を阻害していることが明らかになった。このような結果を踏まえ、切株の処理法、更新林分の保育方法や時期について検討し、伐採・除伐後4～7年を経過した林分の除伐を実施した。

平成 23 年度 東山風景林林相改善事業 詳細

1 平成 19～23 年度施業面積、委託額および位置

平成 19 (2007) 年度 1,000 m² 計画：420 千円，実施：1,050 千円

平成 20 (2008) 年度 1,200 m² 計画：600 千円，実施：1,530 千円

平成 21 (2009) 年度 1,860 m² 計画：760 千円，実施：3,833 千円

平成 22 (2010) 年度 3,800 m² 計画：708 千円，実施：2,562 千円

平成 23 (2011) 年度 4,750 m² 計画：594 千円，実施：3,385 千円

※位置については「図 東山風景林林相改善事業施業位置および面積」を参照

2 平成 23 年度実施内容

6 箇所 (A～F 地区) について、各林分状況に応じ施業を実施した。各地区の施業内容は下記のとおり。

(1) A 地区

施業前の状況：高木層はコジイとヒノキが優占し、上層はこれらの樹木によって林冠は閉鎖され、下層への日射を大きく遮っており薄暗い。

目的：一部のコジイを除伐し、そのギャップに適地性の高い苗木植栽を実施することによって斜面防災に配慮しつつ、群落の種多様性を高め、景観的改善に資する。

内容：前年度 A 地区 (1103-A) の隣接北側約 800 m² (約 20m×約 40m) を拡張し、コジイの不定形群状間伐 (強剪定・環状剥皮による巻き枯らし措置を含む)、常緑低木・下層植生の除伐と前年度地区を含む約 2,800 m² への苗木植栽、コジイ切株への萌芽抑制措置 (地際で切り戻し切断面を平坦にしたうえで、耐光性防草シートで被覆)

植栽木：アカシデ 45 本，イヌシデ 24 本，モミ 8 本，アカガシ 18 本，ウラジロノキ 16 本，アオハダ 12 本，イヌマキ 3 本，ウリカエデ 27 本，イロハモミジ 6 本，オオモミジ 9 本，ガマズミ 24 本，コバノガマズミ 9 本，コマユミ 9 本 計 210 本

(2) B 地区

施業前の状況：平成 21 年度 A 地区 (1003-A) の南側に位置している、7 年前に京都大阪森林管理事務所でもコジイ等を伐採してできたギャップ。現在、安藤准教授 (京都大学フィールド科学教育研究センター上賀茂試験地長) のチームがモニタリング調査・研究を行っているが、コジイの萌芽が著しいために植栽したイロハモミジ、ヤマザクラ等の苗木の生長を阻害 (被圧) している。

目的：コジイの萌芽を抑制し、植栽されている苗木の生長を促す。

内 容：コジイ切株への萌芽抑制措置

(3) C 地区

施業前の状況：カシノナガキクイムシによって枯損したコジイの伐倒によってギャップが形成されている（今回の間伐はこれと連続した形となる）。植生は、高木層まで達しているのはコジイとヒノキ、亜高木層はきわめて貧弱（劣勢ヒノキ等）。

目的：コジイ林の伐採範囲を拡大し林床への十分な光量を確保した場合、苗木植栽を実施しなくとも、林相改善効果が上がるかどうかの試験研究とする。

内 容：貯水池から山頂方向へ上がった散策道の三叉路近傍の約 900 m²（約 30 m×約 30m）におけるコジイの不定形群状間伐と常緑低木・下層植生の除伐，コジイ等切株への萌芽抑制措置

(4) D 地区

施業前の状況：地主神社東から山頂方向へ上がった散策道沿いで、カシノナガキクイムシによる枯損シイ伐倒によって形成されたギャップ約 400 m²（約 20m×約 20m）

目的：カシノナガキクイムシ被害後の急斜面地で表層崩壊抑止のための代替樹種（イロハモミジ等）を育成

内 容：ギャップにおける苗木植栽，コジイ等切株への萌芽抑制措置

植 栽 木：ケヤキ 18 本，イロハモミジ 24 本，オオモミジ 6 本，ウリカエデ 9 本，チドリノキ 6 本，クマシデ 6 本，アワブキ 3 本，コマユミ 3 本 計 75 本

(5) E 地区

施業前の状況：平成 21 年度 B 地区（1003-B）にクロバイ等常緑亜高木を除伐し大径木のヒノキを目立たせ山頂方向への景観向上を図ったが，散策道沿いの目線的位置でウラジロ等が拡大。また，地区南側には亜高木層を凌駕するようにクロバイが大きく横に枝を広げており，日射や通風を遮っている。

目的：ヒノキ林の景観性を改善。また，京都一周トレイルとして散策者の多い散策道に丸太横断工を行い安全な散策道に改善する。

内 容：平成 21 年度 B 地区（1003-B）における散策道沿いのヒノキ劣勢木等間伐，クロバイ等常緑中低木の除伐，下層植生の除去，丸太横断工による表流水誘導および苗木植栽

植 栽 木：コバノミツバツツジ 21 本，コバノガマズミ 6 本，ウリカエデ 3 本 計 30 本

(6) F 地区

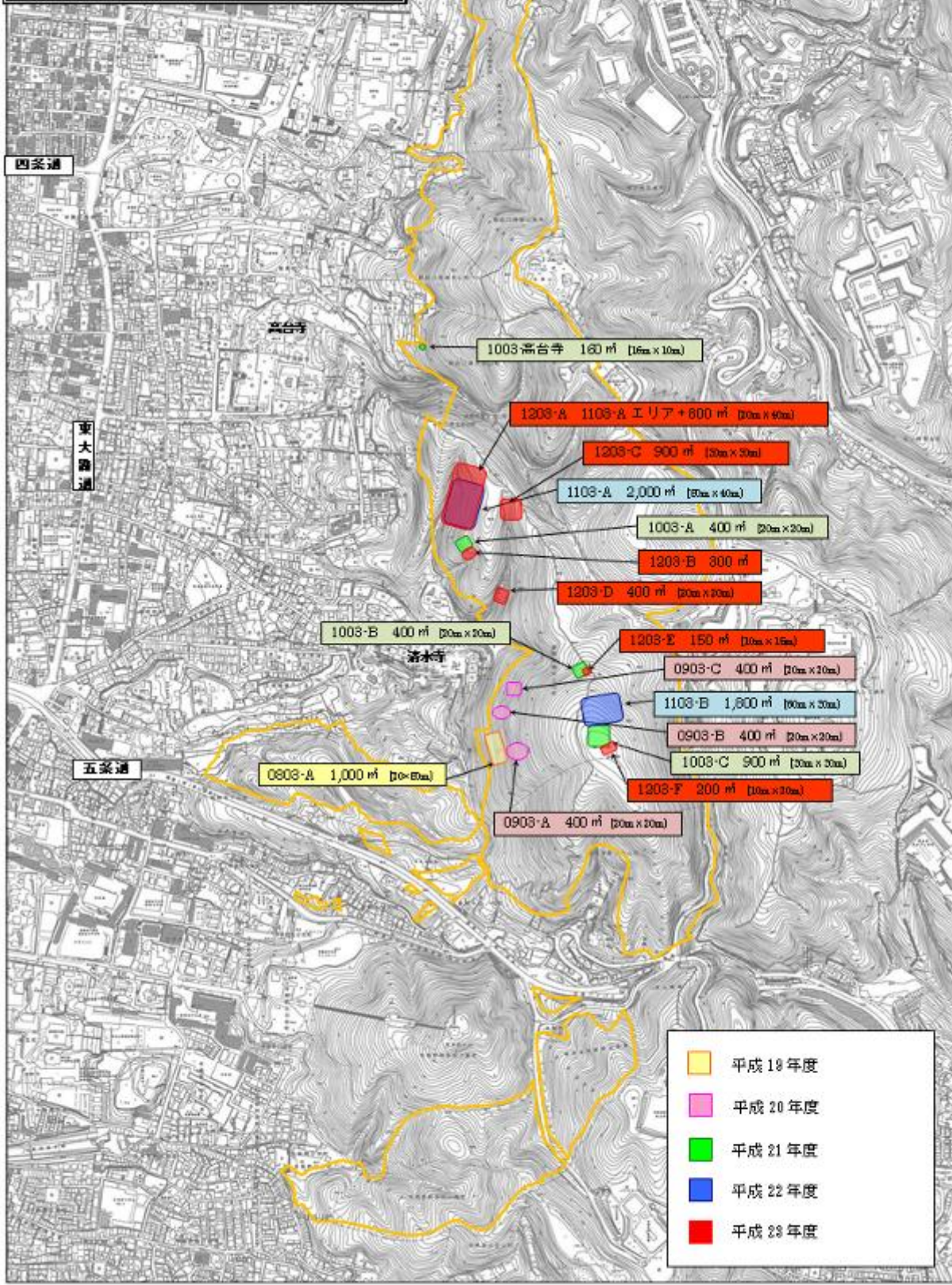
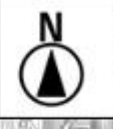
施業前の状況：施業および毎年春に行う除伐イベントにより、山頂付近の見晴らしはかなり向上しているが、単調なヒノキが連続する開放感のある景観が主で、山頂としてはやや不明瞭である。

目的：山頂が目立ちにくい清水山山頂平坦部で、山頂地点を示す標識となる植栽箇所を設け、既存のヒノキ林を手入れしながら、これと調和する居心地の良い山頂環境を整備する。

内容：清水山山頂付近（平成 21 年度 C 地区（1003-C））におけるヒノキの不定形群状帯状間伐，常緑亜高木・枯損木伐採および石組みを行った上での苗木植栽。なお，この箇所において，地元関係者参加による常緑亜高木・枯損木伐採清掃を行った（平成 23 年 3 月 29 日に「清水山山頂の景観改善に向けた森づくり③」として開催）。

植栽木：イヌマキ 3 本，コバノトネリコ 6 本，ヤマツツジ 6 本，ナツハゼ 8 本 計 23 本

京都伝統文化の森推進協議会
 東山区活動区域図
 (高台寺山国有林, 阿弥陀ヶ峰国有林)



1/20,000

図 東山風景林林相改善事業施業位置および面積

○ 文化的価値発信及び森林整備・景観対策合同事業

- ・協議会ホームページの運営 (<http://www.kyoto-dentoubunkanomori.jp>)
- ・協議会パンフレットの増刷及び配布
- ・「国際森林年記念 落第忍者乱太郎『京都の森を守ろう』ウォーク」の開催
 - 日 時：平成 23 年 7 月 23 日（土）
 - 場 所：東山風景林（高台寺山国有林）
 - 参加者：294 名
 - 内 容：朝日新聞社，林野庁京都大阪森林管理事務所らとの共催。子供たちにも東山の現状を知ってもらうことを目的に，親子での参加者を募集。森林インストラクターの案内で知恩院山門前から清水寺までの山道を歩いていただいた。ウォーク中にはスタンプラリーやネイチャーゲーム，ナラ枯れ被害木の伐採も見学。
- ・「国際森林年記念行事 第 9 回トラックの森づくり」への後援
 - 日 時：平成 23 年 10 月 5 日（水）
 - 場 所：東山風景林（銀閣寺山国有林）
 - 参加者：約 90 名
 - 内 容：「トラックの森づくり」は，平成 15 年度から社団法人全日本トラック協会が地球温暖化対策の一環として行っている植樹活動で，平成 23 年度は東山風景林で行われ，本協議会も協力をした。
- ・「水都おおさか森林の市 2011」への出展
 - 日 時：平成 23 年 10 月 8 日（土），9 日（日）
 - 場 所：近畿中国森林管理局周辺（大阪市）
 - 来場者：約 480 名
 - 内 容：林野庁京都大阪森林管理事務所，財団法人京都市森林文化協会と共同で出展。京都伝統文化の森推進協議会の概要及び活動内容紹介のパネルを展示，伝統文化の森推進協議会に関わるクイズを出題し，正解者の中から抽選で 20 名にサポーターから御提供いただいた景品をプレゼントした。
- ・「第 11 回 東山クリーン作戦」の開催
 - 日 時：平成 23 年 10 月 16 日（日）
 - 場 所：東山風景林（東山山頂公園周辺）
 - 参加者：73 名
 - 内 容：林野庁京都大阪森林管理事務所との共催で実施。東山山頂公園とその周辺，東

山ドライブウェイ沿いの山中を中心にサポーター、活動協力団体等の協力を得て清掃活動を行った。

- ・「国際森林年の文化の日に森林と木の『文化』について語る公開シンポジウム」の開催

日 時：平成 23 年 11 月 3 日（木・祝）

場 所：京都府立大学 合同講義棟第 3 講義室

参加者：125 名

内 容：森林に人が関わることで生まれた「文化」、人が木材を利用することで生まれた「文化」等、森林や木に関する「文化」という共通のテーマで講演が行われた。本協議会からは、田中和博委員による司会進行のもと、鎌田東二委員と原田憲一委員が講演を行った。

- ・シンポジウム「三山におけるこれからの森林景観づくり」への共催

日 時：平成 23 年 11 月 9 日（土）

場 所：左京区総合庁舎 1 階大会議室

参加者：約 200 名

内 容：京都市主催で京都の景観を特徴づける三山の現状と課題、「手を入れていく」とや森林の公益的価値としての重要性等を、多くの方に知っていただき、協働による森林景観づくりを推進していくことを目的に開催されたシンポジウムに共催。本協議会からは、森本幸裕委員が「三山の現状と課題」というタイトルで基調講演を行い、パネルディスカッションでは黒田慶子委員と高田研一委員がパネラーとして参加した。また、サポーターである清水寺の大西真興執事長がビデオ出演でメッセージを寄せられた。

- ・「第 2 回 使って守ろう京都三山の森～ナラ枯れ木搬出薪割り大作戦！～」の開催

日 時：平成 23 年 12 月 6 日（火）～8 日（木）、10 日（土）

場 所：東山風景林（東山山頂公園周辺）

参加者：延べ 225 名

内 容：近年、京都三山でもナラ枯れ拡大が問題になっていることから、「市民力」を生かしてナラ枯れ問題に立ち向かおうということで昨年度から始めた試み。最終日の 10 日午後は、「京都の森を守ろう 薪割り&ウォーク」参加者と合流し、一緒に作業を行った。事前に財団法人京都市森林文化協会の森林整備隊により伐採・玉切りしてあったナラ枯れ被害木を林内から薪割り場までバケツリレー方式で搬出し、薪にする作業を行った。最終的に約 1,500 束の薪が作られ、作られた薪は協議会の活動協力団体、サポーター、今回のイベント協力者へ提供した後、一般の希望者に 1 束 300 円の協力金をいただき配布した。協力金は今後の協議会活動に使わせていただくこととした。

・「京都の森を守ろう 薪割り&ウォーク」の開催

日 時：平成 23 年 12 月 10 日（土）

場 所：東山風景林（高台寺山国有林）

参加者：160 名

内 容：朝日新聞社，林野庁京都大阪森林管理事務所，財団法人京都市森林文化協会，京都市と共催で，一般の方々にも東山で広がっているナラ枯れなど森の現状を知ってもらうことを目的に開催。森林インストラクターの案内で三十三間堂から青蓮院までのウォークを行い，途中の東山山頂公園では薪割り作業を体験していただいた。